

共同シンポジウム開催要領

1 テーマ

シナイモツゴ発見 100 周年、大崎市政 10 周年記念共同シンポジウム
「里山・里地水辺のゆたかな自然を次世代へ」

2 趣 旨

今年、2016 年、生き物と共生する大崎市が誕生 10 周年を迎え、大崎市品井沼の地名を冠するシナイモツゴが発見 100 周年を迎えました。大崎市のゆたかな自然を象徴する生き物の一つであるシナイモツゴを絶やすことなく保全していくため、節目の年を記念し、市内外から識者を招いて最新知見を紹介いただき、方策を語り合いたいと考えます。

近年、国土の 14%に過ぎない平野部に人口が集中し、さまざまな開発行為や外来種の侵入などにより、多くの生き物が減少し絶滅の危機に陥っています。一方、身近な里山のため池や里地の小川には貴重な動物が驚くほどたくさん生息しています。水中では魚、貝、エビ・カニ、水生昆虫など、岸部ではカエルやサンショウウオそしてこれらを餌とする鳥や哺乳類など、訪れるたびに新たな出会いに感動することができます。里山・里地の水辺の豊かな自然を守り復元するため、私たちは、一貫して科学的な対処方法を開発すると共に、市民・農民レベルでの取り組みを実践してきました。

今回は豊かな自然を次世代へ継承するために、大崎市品井沼の地名を冠する絶滅危惧種シナイモツゴの保全と根本的な対策が急務となっている外来生物対策を中心課題として最新知見の紹介と議論を行うことになりました。

第 1 部では、地域の宝シナイモツゴを次世代へ引き継ぐため、内外で活動している団体や研究者に最新知見や取り組みの実態を紹介していただきます。

第 2 部では豊かな自然を守るために最重要課題となっている外来生物対策の新技术や知見を報告します。さらに総合討論で地域との連携や技術開発のあり方について広範囲に意見を求めたいと考えます。是非、ご参集の上、情報および意見交換に加わっていただければ幸いです。

- 3 主 催 : 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会、NPO 法人シナイモツゴ郷の会
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、ナマズのがっこう
- 4 後 援 (調整中) : 宮城県北部地方振興事務所、大崎市、大崎市教育委員会、JA みどりの
公益財団法人 東洋ゴムグループ環境保護基金
- 5 場 所 : 宮城県大崎合同庁舎 1F 会議室 (宮城県大崎市古川旭 4 丁目)
- 6 日 時 : 2016 年 11 月 26 日 (土) 9 : 30~17 : 00
- 7 展 示 : アメリカザリガニ連続捕獲装置、アメリカザリガニ魚醬、水田魚道
シナイモツゴ、ゼニタナゴなど水槽展示、活動写真ポスター、出版書籍など
- 8 情報交換会

日時 : 11 月 26 日 18 : 00~20:00

会場 : レストラン「ときわ」(ホテル古川ヒルズ 1 F : 古川市台町 6 - 1 1) 0229-23-2377

会費 : 4000 円

参加申し込み : 下記連絡先へメールなどで 11 月 15 日までお願いします。

事務局 NPO 法人シナイモツゴ郷の会 (シンポジウム企画責任団体)

実行委員長 : 高橋清孝 事務局長 : 浅野功

問い合わせ先 MAIL kiyotaka-toto*ktf.biglobe.ne.jp

(発信時に*を@に書き換えてください)

TEL 090-4043-3692

事務局住所 宮城県大崎市鹿島台公民館内

シンポジウム会場へのアクセス

会場 宮城県大崎合同庁舎 1F 会議室

住所 宮城県大崎市古川旭4丁目

アクセス 東北新幹線古川駅、陸羽東線古川駅東口から徒歩 10～15 分
イオン古川店の隣

会場地図

